

2024年2月9日

各位

会社名 レイズネクスト株式会社
代表者名 代表取締役社長 毛利 照彦
(コード番号 6379 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 経営企画部長 鎌田 崇嗣
(TEL045-415-1500)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年2月9日開催の取締役会において、下記の通り資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状分析

当社グループは「2032年度（第4次中期経営計画の最終年度）までにありたい姿」を描いた長期ビジョンとして「RAIZNEXT Group V-2032」を策定し、持続的な成長と企業価値の向上を目指しております。また、長期ビジョン達成のファーストステップとして、当社は、2021～2024年度（2025年3月期）を対象とする「第2次中期経営計画－RAIZNEXT SYNERGY POWER」を推進しております。

そうした中、当社のROE（自己資本利益率）は第2次中期経営計画で目標として掲げている8%を上回る水準で推移しておりますが、PBR（株価純資産倍率）は1倍前後にとどまっており、良好な収益性に対し、株価は割安な水準で推移していると評価しております。

こうした状況は、持続的な成長可能性について株主や投資家の皆さまに十分な理解を得られていないこと、個人投資家による保有が限定的であることなどから株式流動性が低いこと、等が要因であると認識しております。

2. 対応方針

こうした現状を踏まえ、収益性・資本効率の向上に引き続き取り組み、長期的にROE10%を目指し、併せて株主還元の充実およびIR活動を強化していくなど、資本収益性や株価を意識した経営を進めてまいります。また、本日開示いたしました従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度の導入により、当社従業員と株主の皆様との一層の価値共有を進め、当社の企業価値の持続的な向上を目指してまいります。

項目	具体的な取り組み
収益性の向上	・メンテナンス事業での安定した収益確保と成長分野への積極的な取り組み ・人的資本投資およびDX、ICT化による労働生産性の向上
資本効率の向上	・政策保有株式の継続的縮減 ・賃貸不動産・遊休不動産の売却
株主還元の充実	・60%以上の連結配当性向を目標 ・特別配当の実施
IR活動の強化	・当社の事業戦略に関する情報開示・発信の強化 ・個人投資家拡大に向けた取り組みの実施

以上